

【表紙】

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次 会計期間		第41期	第40期
		第1四半期連結累計(会計)期間 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高	(千円)	11,462,541	55,592,180
経常利益	(千円)	645,736	4,506,113
四半期(当期)純利益	(千円)	378,271	2,866,806
純資産額	(千円)	28,122,840	28,164,930

E03126)

3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期における国内経済は、サブプライムローン問題や原油価格および原材料価格の高騰などの影響により、景気後退の兆しが出てまいりました。

一方、国内IT市場におきましては、大企業のIT投資は堅調に推移いたしましたが、中堅・中小企業のIT投資は、一部において陰りが見え始めてまいりました。

このような環境の中、当社では技術力と最先端プロダクトを駆使した独自ソリューションの展開やシステム製品の品質向上など数々の施策を積極的に推進するとともに、サービス事業に注力することによ

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.8%減少し、317億6千1百万円となりました。これは、現金及び預金が13億1千1百万円増加し、受取手形及び売掛金が43億9千7百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8.6%減少し、48億1千万円となりました。これは、退職給付制度の変更に伴い、前払年金費用が3億6千9百万円減少したことなどによります。

(4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結会計期間の研究開発費の総額は1億3千万円であります。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	42,206,000
計	42,206,000

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

【注記事項】

E03126)

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計(累計)期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当類
-------	----

(リース取引関係)

当第1四半期連結会計(累計)期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

システ

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

共通支配下の取引等

E03126)

(1株当たり情報)

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

E03126)